

8・5 青年部全支部交流会、当局の弾圧うち破り

出向拒否、スト権確立を宣言



「8・5青年部全支部交流会」は、全支部から一二〇名が結集する中、会社当局の不当なロックアウト、現認攻撃に対する怒りの抗議集会、デモとして当局を圧倒し「4・1」体制粉砕への実力闘争として第一歩を踏み出した。全支部は、この実力闘争を引き継ぎスト権投票の大成功
一一〇〇％確立へむけ全力で取り組もう。

全支部から120名が結集 当局の不当ロックアウト弾劾



当局の不当ロックアウトを粉砕し、門前で断固集会を貫徹

組合事務所使用は正当な権利だ

十八時過ぎ、続々と全支部から結集した青年部員が、予定どおり津田沼支部組合事務所に結集しようとした。ところが、会社当局は一〇〇人も対策員と現認班によって津田沼運転区入口の門を閉ざし「組合事務所の使用は許可していない」と暴言を吐いているのだ。

労働組合が組合事務所を使うのになぜ当局の許可を得なければならないのだ。
青年部は、この当局の暴挙に対し断固として怒りの抗議集会を門前で開催した。

スト権確立を軸に闘おう

青年部常任が司会をすすめる中、まず本部布施書記長より「八月十七日からのスト権投票では、一〇〇％の確立をかちとろう。その最先頭に青年部が起とう」と挨拶し、次に、当該支部の綾部支部長は「スト権確立を軸に当局との攻防をやりぬき出向を阻止しよう」と力強く訴えた。

さらに、顧問弁護団の一瀬弁護士からは「全く不当であり、責任をとるべきは当局だ」と、当局の暴挙を厳しく追及した。

そして、杉本青年部長代行より「四月・中江選挙、五月『5・17三里塚』、六月・動労西日本結

成、七月・臨時委でのスト方針と、四月以降も連続的に闘い勝利している。出向に対する闘いをスト権の確立を軸に大爆発させよう」と基調が提起された。

その後、各支部より熱気あふれる決意表明が行われ、青年部が最先頭で闘うことを確認し、シュプレヒコール、デモを貫徹して「8・5青年部全支部交流会」は圧倒的に成功をかちとった。

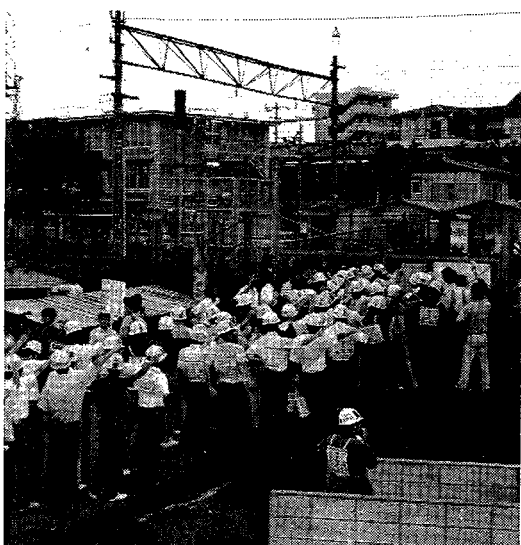
当局に「出向断固拒否」
スト権確立を宣言

この日の闘いでわれわれが確認できたことは、まず何よりも、ついに強権的労務支配をうち破り全支部から一二〇名という怒りの結集を実現したことだ。これは本当にすごいことだ。

会社当局の「申入書」「社員に告ぐ」なる恫喝や点呼時の「指導」を粉砕して当局との正面対決を実現し、堂々と運転区門前で集会デモを貫徹して出向拒否を宣言したのだ。本日をもって総反撃の具体的行動がはじまったのだ。

さらに、この日の闘いが、十七日から始まるスト権投票の成功にむけた巨大な回転軸となったことだ。「8・5青年部交流会」の大成功をステップに出向拒否の意志表示としてスト権確立を実現させよう。

青年部は、スト権一〇〇％確立にむけ、最先頭で闘いぬく決意です。（寄稿 青年部S生）



全支部から120人が結集。怒りのシュプレヒコールをあげる。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！